

アクセサリ取り付け方法

(耳せん&チューブ、耳せん&レシーバ)

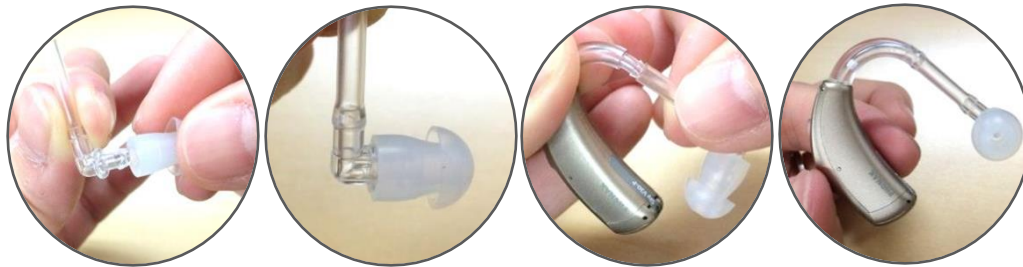


この紙面では、フォナック補聴器と共に使用するアクセサリパーツと、その取り付け方法について述べています。

<耳せん / ジョイントチューブ>

❖ 耳せん（耳かけ型）

耳かけ型補聴器をチューブで使用する場合、ジョイントチューブの先端に耳せんを装着させ、もう片側をフックに取り付けます。耳せんがジョイントツールにしっかりと取り付けられているか確認します。



ジョイントツールに耳せんを装着させる

耳せんを装着させたジョイントチューブをフックに取り付ける

<オープン型耳せん / スリムチューブα>

❖ オープン型耳せん（オープンタイプ）

耳かけ型補聴器をオープンタイプで使用する場合、スリムチューブα（アルファ）の先端にオープン型耳せんを装着させ、もう片側を補聴器に取り付けます。耳せんが隙間なくしっかりと取り付けられているか確認します。



スリムチューブαに耳せんを装着させる

フックを取り外す

時計回りにスリムチューブαを回して取り付ける

<オープン型耳せん / レシーバ>

❖ オープン型耳せん (RICタイプ)

予め、スリムチューブαで使用した同じオープン型耳せんをレシーバの先端に装着させます。耳せんを装着させたレシーバを補聴器に取り付ける方法は使用する補聴器の器種によって取り付け方法が異なるので、該当する下記方法を参考にしてください。

<312タイプの場合>



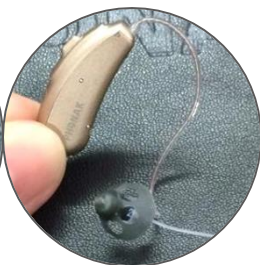
レシーバ差込み口横にあるピンがし出ている確認する



レシーバ先端のピンを差し込んで取り付ける



治具を使ってピンを押し込む

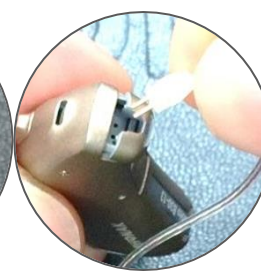


治具を使ってレシーバを取り外す

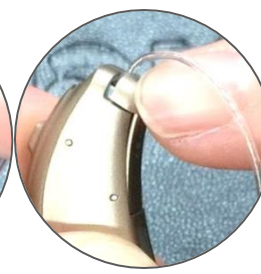
<13タイプの場合>



レシーバ差込み口が開いているか確認する



レシーバ先端のピンを差し込んで取り付ける



口の部分を押しして閉じる



治具を使ってレシーバを取り外す

<取り付け作業で必要になる治具>



RIC 13タイプ用
レシーバ取り外し治具



RIC 312タイプ用
レシーバ取り外し治具

<耳せんとチューブ・レシーバの種類>



耳せん



オープン型耳せん



標準フック



ミニフック



スリムチューブα



標準レシーバ



(左：現行タイプ



パワーレシーバ

右：旧タイプ)